

ネットワーク更新事例

岩瀨薬品株式会社様

BCP対策でネットワークを冗長化
ニューノーマル時代の働き方にも対応

岩瀨薬品株式会社
管理本部総務部
部長
田中 優氏



岩瀨薬品株式会社
管理本部総務部
情報システムグループリーダー
課長
川崎 毅洋氏



岩瀨薬品株式会社
管理本部総務部
情報システムグループ
係長
萬崎 瑛里子氏



お客様名: 岩瀨薬品株式会社
所在地: 千葉県四街道市鷹の台1-5
概要: 千葉県を地盤とする独立系の医薬品卸。会社創業は1914年3月と100年以上の歴史を持つ。医療用医薬品のほか、医療機器、診断用試薬、一般医薬品の卸販売も手がける。そのほかにもクリニックや薬局の開業支援や医療経営支援など医療トータルサポートなども行う。本店として佐倉市に事業所を置いているが、本社機能は四街道市の流通センターに集約している

URL: <http://www.iwabuchi-net.co.jp/>



事例のポイント

課題背景

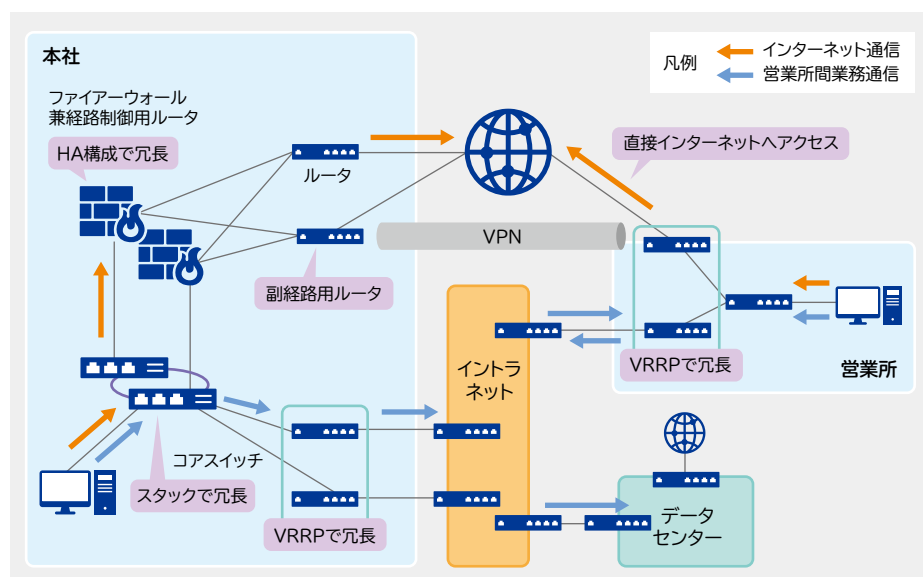
- 追加や改修で複雑化したネットワークを見直したい
- OSのアップデートをスムーズに行えるよう帯域を確保したい
- 各営業所からのアクセス環境整備とBCP対策を図りたい

成果

- ネットワークの更新でクラウド利用も快適に
- 社内ネットワークとインターネット利用の2回線により冗長化を実現
- 各営業所から直接インターネット接続で業務スピードが向上

対象サービス

● ネットワーク更新



導入前の背景や課題

ネットワークの帯域が狭く 業務のスピードに影響

岩淵薬品様は1970年代の初頭から自社でコンピュータを導入するなど早くから情報化を進めてきました。主軸の医薬品卸の業務について、管理本部総務部の田中優部長は、「営業スタッフは、病院やクリニックなどのお客さまに対応するため、社内にいるよりも外回りの時間が長い。そのためSIM内蔵のモバイルノートを使用して

います」と話します。そんな中、モバイルの活用などITの進化に対応して、社内のIT環境の改善も必要になります。ところが社内のネットワークが進化の“アキレス腱”となっていました。田中部長は、「当社では社内パソコンのWindows 10へのアップグレードを進めています。21年春までに半分ほどのパソコンのアップグレードを完了しましたが、この作業を進めていくなかで、Windows10の定期的なアップグレードの際

に不可欠となる帯域の余裕がないという問題が浮上しました」と語ります。各端末のアップグレードが始まると、それだけで帯域が使われ、社内ネットワークを介した業務スピードに影響が出ました。管理本部総務部情報システムグループの萬崎瑛里子係長は、「アップグレード時にストレスを感じずに済み帯域を確保することが急務でした」と話します。

選択のポイント

コスト面の比較に加え 業務の理解度も考慮

ネットワーク更新のポイントは帯域の確保だけではありませんでした。これまでの追加や改修で複雑化していたネットワーク構成の見直しや、各営業所の通信環境の冗長化も課題でした。「ベンダーの選定では、我々の要望を実現できるかどうかやコスト面はもちろん、当社の業務を理解しているか、業務の信頼性という点も比較検討しました。その点で、当社のことをよく知っているNECフィールドイングなら任せて安心で

した」(田中部長)。ネットワーク更新プロジェクトでは、社内ネットワークに加えてインターネットに直接接続できる構成を目指しました。クラウド上のアプリケーションを利用するには直接インターネットにアクセスする方がスムーズです。これにより、社内ネットワークとインターネットの2回線を確保でき冗長化が可能となります。ネットワークの更新作業は2020年8月にスタート。設計や機器調達を行い、10月に新しいルーターやスイッチの設置が始まりました。管理本部総務部情報システムグループリーダーの川崎毅

洋課長は、「複数の拠点で機器設置や配線工事を同じ日に実施しました。営業日にはネットワークを止められないので、日曜の作業となり、当社の情報システムグループの担当者が立ち合い、NECフィールドイングのエンジニアと拠点を回りました」。12月には更新を完了し、年末の稼働開始となりました。萬崎係長は、「プロジェクトに関する質問やこちらが疑問に思っていることなどをNECフィールドイングの担当者に伝え、すぐにメールで返信してくれたのはありがたかったですね」と振り返ります。

導入後の成果

BCP対策が進み 業務停止の不安も解消

川崎課長は、「ネットワーク環境の分散化による負荷軽減ができたことで、当初は重かったWebミーティングも快適になりました」と話します。近年、台風や豪雨災害が各地で頻発しています。千葉県でも大きな台風被害が出ました。田中部長は、「災害時でも医薬品の供給を止めないのが当社の責任です。震災や台風被害の経験から、各営業所に自家発電設備を導入していますが、ネットワークも冗長化を図ったことで、災害時

でもビジネスが止まるという不安は解消されました」と話します。川崎課長は、「今回のプロジェクトでは、NECフィールドイングのレスポンスのよさが光っていました。保守メンテナンスでの安心感と信頼感がベースにあり、提案からプロジェクトの実施、完成まできめ細かく対応してもらえました」と話します。萬崎係長も「情報システムグループはITシステムの運用とそれによる業務改善がミッション。ネットワーク環境が改善されたことで、通信の不具合やスピードの遅さで業務に影響が出ることが

なくなると思います。また、コロナ禍によるニューノーマル時代の働き方にも対応できる仕組みの導入にも道が開けそうです」と、今回のネットワーク更新に満足しています。田中部長は、「今回のネットワーク更新は必要最低限の対策だと思っています。ITシステムのさらなる安定稼働に向けて、いずれは何らかの対策、もしくは情報システムの刷新が必要になるでしょう。NECフィールドイングにはこれからもパートナーとして協力してもらえればと思っています」と、高い期待を持っています。

お問い合わせは、下記へ

NECフィールドイング
産業事業部 セールスサポート部
TEL : 03-6436-5117
URL : <https://solution.fielding.co.jp/lp/newnomal>

●本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
●このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
●本製品の輸出（非居住者への役員提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。